

外国文学



ハリネズミの願い

トーン・テレヘン／著
長山さき／訳

新潮社(2016年)

他の動物たちと上手く付き合えない消極的なハリネズミ。誰かを家に招待しようとするけれど勇気が出ない。訪ねてきた動物に傷つけられることを想像して、招待を諦めてしまったハリネズミが、最後に気づいたことは…。

2017年本屋大賞 翻訳小説部門受賞

ドラゴンの塔 上下

ナオミ・ノヴィク／著
那波かおり／訳

静山社(2016年)

東欧のとある谷間の小さな村には奇妙な因習があった。十年に一度、谷を統べる魔法使い〈ドラゴン〉に17歳の娘をひとり差し出すこと——。今年、村に“彼”がやってくる。何の取り柄もないじぶんが選ばれるはずはないと思っていたアグニシュカだったが…。





月にハミング

マイケル・モーパード／作
杉田七重／訳
小学館（2015年）

アルフィと父のジムは船で向かった無人島で、衰弱した少女を見つける。少女はルーシーと言ったきり言葉を発しなかった。アルフィー家の暖かい支援で、徐々に回復していくルーシー。彼女は何者なのか？第一次世界大戦中に豪華客船ルシタニア号が撃沈されたという史実が織り込まれた物語。

ぼくは君たちを憎まない ことにした

アントワヌ・レリス／著
土居佳代子／訳
ポプラ社（2016年）

どんな暴力によっても、奪えないものがある。2015年のパリ同時多発テロで妻を奪われた筆者は、絶望の淵に落されながらも言葉の力を信じ、読んだ人々はそれを広めた。続いていく世界が、いつか癒やしになることを願わずにはられない。

